

Pioneer



重要

最初に行ってください。

3Dハイブリッドセンサーをリセットする
20ページ

6.5型ワイドTV付
ボイスコントロール DVDナビゲーションセット

AVIC-DR1000

VICS用ビーコン受信機/6.5型ワイドTV付
ボイスコントロール DVDナビゲーションセット

AVIC-DR1000V

スタートブック

取り付けが終わったら

**はじめに
読む本**

必ず、お読みください。

取扱説明書の分冊構成については、
4ページでご確認ください。

carrozeria

目次 6ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

[異常時の処置]

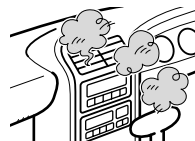
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



規定容量の
ヒューズを



必ず行う

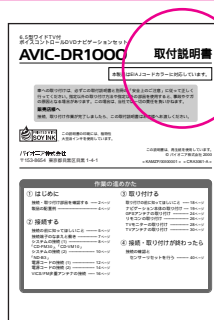
ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

このような順に説明書をご覧ください

本機には、3種類の説明書が同梱されています。ご利用状況に応じて使い分けてください。

1. 取り付けや接続を行うときに読む

「取付説明書」をお読みください。別売品との接続のしかたについても、ここで説明しています。



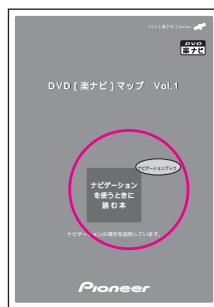
2. 本機を使い始める前の準備や、テレビの操作について知りたいときに読む

「スタートブック」(本書)をお読みください。本機を取り付けた後、実際に使い始めるまでに必要な操作である、ディスクのセットのしかたや電源の入れかた、3Dハイブリッドセンサーのリセットの説明をしています。テレビの操作のしかたも、本書で説明します。



3. ナビゲーションの操作を知りたいときに読む

「ナビゲーションブック」をお読みください。ナビゲーションの全機能の使いかたを知ることができます。ナビゲーションの操作辞典としてご利用ください。



主な特長

高精度、高速化。ナビゲーションの基本機能がさらに充実。

精度専用のチップを搭載し、処理速度を向上しています

精度関連の処理を専門に行うチップを搭載しました。精度を向上させるだけでなく、スクロールやルート探索、検索など、すべてのナビゲーションの機能が速度アップしています。

3Dハイブリットセンサーにより、自車位置を正確に表示できます

3Dハイブリットセンサーで、坂道の登り降り（地面の傾斜）を検知できます。このため、立体交差の道路、地図上で重なりあっている道路などのも的確に判断でき、測位に反映します。

VICS（道路交通情報通信システム）の情報を利用できます

FM多重放送によるVICS情報を受信して、渋滞情報を地図上に表示できます。さらに「AVIC-DR1000V」では、付属のVICS用ビーコン受信機で、ビーコンによるVICS情報を受信することができます。

DVDの大容量を活かした豊富な情報を収録しています

電話番号のデータ、各種施設のデータなど、2層DVD・8.5GBならではの豊富な情報が収録されています。データ量は膨大ですが、高速処理ができ、探したい場所もすぐに見つけられます。

音声でナビゲーションをコントロールできます

音声操作でナビゲーションを簡単かつ安全にコントロールできます。ナビゲーションの音声に答えていくだけで、ルート設定などの機能を操作できます。

「AVIC-DR1000」でビーコンによるVICS情報を受信するには、VICS用ビーコン受信機「ND-B3」(別売)が必要です。

Memo

説明書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。

実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。



初めてお使いになるときは、必ず3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください（「リセット作業を行う」20ページ）。3Dハイブリッドセンサーのリセットを行わないと、ナビゲーションの誤差が大きくなる場合があります。

安全のために必ずお守りください	2
安全上のご注意	3
このような順に説明書をご覧ください	4
主な特長	5
目次	6

1. はじめに

ご使用前に知っておいていただきたいこと	8
---------------------	---

2. 準備

準備1：リモコンの準備をする	10
リモコンに電池をセットする	10
リモコン	10
リモコンの10キーカバーの取り付けかた	11
準備2：各部のなまえと主な働きを知る	12
各部のなまえ	12
ナビゲーション本体	12
TVモニター	13
リモコン	14
音声認識用マイク（別売「CD-VM10」）	15
音声認識コントローラー（別売「CD-SR5」）	15
リモコンのジョイスティック／〔決定〕ボタンの使いかた	16
ジョイスティックとして使う	16
〔決定〕ボタンとして使う	17
準備3：ディスクを本体にセットして電源を入れる	18
電源の入れかた	18
電源の切りかた	19
準備4：3Dハイブリッドセンサーをリセットする	20
リセット作業を行う	20
エラーメッセージが表示されたときは	22
停車中にエラーメッセージが表示されたときは	23
走行中にエラーメッセージが表示されたときは	23

3. テレビの操作

テレビを見る	24
テレビに切り替える	24
テレビの音声をFM付きカーステレオで聞く	25
ワイド画面の拡大のしかたを変える	26
ワイドモードの種類	27
放送局を選ぶ・記憶する	28
自分がいる地域の放送局を選ぶ	28
現在受信できる放送局を記憶する	29
チャンネルを選ぶ / 受信できる放送局を探す	30
10キーに記憶されたチャンネルを選ぶ	31
10キーにチャンネルを記憶する	31

1

2

3

4

4. 付録

TV モニターの正しい使いかた	32
ビーコンについて	33
ディスクの正しい使いかた	34
保証書発行兼お客様登録カードとアフターサービス	36
リセットのしかた	38
仕様	39

ご使用前に知っておいていただきたいこと

お使いになる地図ディスクについて

本機のご使用にあたっては、付属のナビゲーション用DVD-ROMディスク「DVD [楽ナビ] マップ Vol.1」をお使いください。それ以外のDVD-ROMディスクは使用できません。また、CD-ROM（「スーパーエリアマップシリーズ」や「ロードナビゲーターシリーズ」など）も使用できません。

現在地の表示について

初めて本機を使うときは、現在地とは異なる地図が表示されたり、地図上に表示されている現在地と実際の自車位置が大きくずれることがあります。これは故障ではありません。しばらくすると正しい現在地が表示されます。また、本機は自車位置と現在地の誤差を補正する機能をそなえています。この働きによって、走行を重ねるにつれて精度が高くなり、ずれが少なくなってきます。

安全走行のために

本機には、走行中は操作できない機能があります。（操作すると「走行中は操作できません」と表示されます。）また、走行中にテレビの映像を見ることはできません。このような場合は、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。

画面が見えにくいときは

TVモニターの液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られていますが、その上下左右の角度は映像の黒の濃さを調整することで変えることができます。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて映像の黒の濃さを調整してください。（ 13 ページ）

昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまうことがあります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。このため車のライトをONにすると、画面は自動的に夜画面に変わります。

昼画面・夜画面の切り替えを日の出、日没の時刻と連動させたり、つねに昼画面を表示させておくこともできます。(『ナビゲーションブック』)



昼画面



夜画面

本書では、昼画面を例に説明しています。このため、夜画面が表示されている場合、本書の説明と画面の色が異なる場合があります。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、かならず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

TV モニターの液晶画面を保護するために

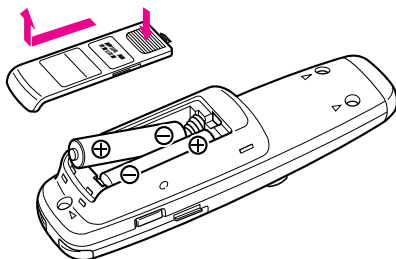
本機を使用していないときは、TV モニターに直射日光が当たらないようにしてください。高温のために液晶画面が故障する恐れがあります。(「TV モニターの正しい使いかた」32 ページ)

準備 1 : リモコンの準備をする

リモコンに電池をセットする

リモコン

裏ボタンをはずして、単 4 形アルカリ乾電池 (LR03) 2 本をセットします。



Memo

リモコンの取り扱いに関するご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。リモコンを使用しないときは、グローブボックスなど直射日光の当たらないところに保管してください。
- リモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。

電池の取り扱いに関するご注意

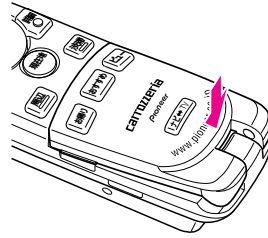
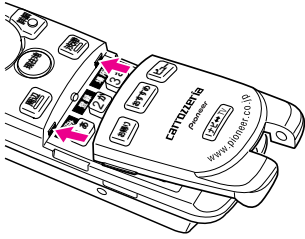
- 乾電池は充電できません。
- リモコンを長期間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れ換えてください。
- リモコンからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。
- リモコンの電池を交換するときは、電池寿命の長いアルカリ電池のご使用をおすすめします。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。
- 電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となることがあります。

リモコンの10キーカバーの取り付けかた

10キーのカバーは、無理な力が加わったときに外れる構造になっています。カバーが外れたときは、下記の方法で取り付けてください。

カバーの爪を溝に合わせて

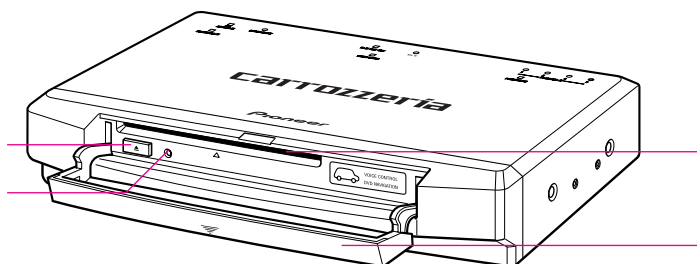
上から押す



準備 2 : 各部のなまえと主な働きを知る

各部のなまえ

ナビゲーション本体



ディスク取り出しボタン

リセットボタン (38 ページ)

ディスク挿入口

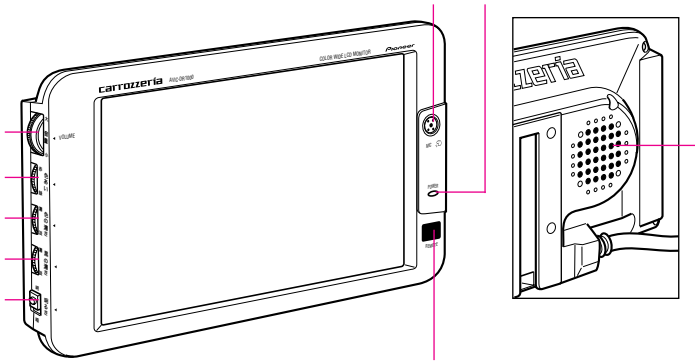
フロントドア

中央のマークの付いている部分を手前に引くとドアが開きます。

Memo

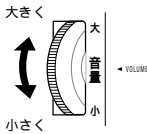
ディスクを出し入れするとき以外は、必ずフロントドアを閉めてお使いください。ごみやホコリなどの異物が入ると故障の原因となります。

TVモニター

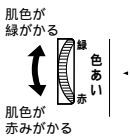


2 準備

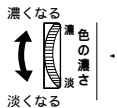
スピーカーの音量調整ツマミ
 下へ一杯に回すと音が聞こえなくなります。通常は音が十分に聞こえる位置でお使いください。



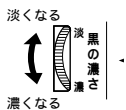
映像の色あい調整ツマミ



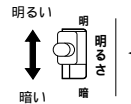
映像の色の濃さ調節ツマミ



映像の黒の濃さ調節ツマミ



液晶画面の明るさ調節スイッチ



内蔵音声認識用マイク
 音声操作を行なうときには、ここに向かって発話します。

電源ランプ

本機の電源が入っているときに、赤色に点灯し、電源を切ると消灯します。

リモコン受光部

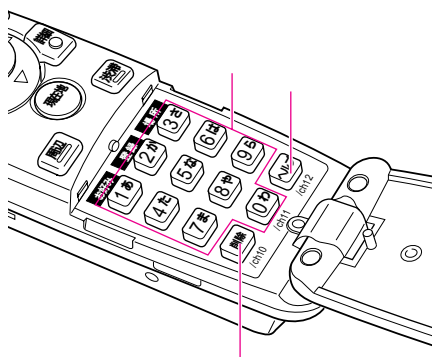
リモコンをここに向けて操作します。

内蔵スピーカー

ナビゲーションの音声案内やテレビの音声、ボタンを押したときの「ピッ」という操作音が出力されます。

Memo

映像の「色の濃さ」と「色あい」の調整は、テレビ映像に対してのみ行うことができます。ナビゲーションの映像に対しては効果ありません。



〔削除〕ボタン

直前の文字を削除したいときに使います。

10キー

ナビゲーションの操作時に、電話番号や文字を入力したり、メニューを表示させるときに使います。また、テレビのチャンネルを呼び出したり、見たいチャンネルを登録したりするときにも使います。

10キーの〔1〕〔2〕〔3〕を押すと、メニュー画面を表示させることができます（『ナビゲーションブック』）。

〔1〕：お好みメニューを表示します。ナビゲーションの設定を変えたいときにや、情報を見たいとき、データを変更したいときに使います。

〔2〕：登録メニューを表示します。場所（地点）を登録したり、登録したデータを変更・削除したいときに使います。

〔3〕：場所を探すメニューを表示します。場所を探したいときに使います。

ヘルプボタン

基本的な使いかたの解説と素朴な疑問集を見たいときに使います。

音声認識用マイク

（別売「CD-VM10」）

TVモニターの設置位置などにより、TVモニター内蔵のマイクで音声が入りよく認識されないとき、ナビゲーション本体に接続します。

その場合は、このマイクに向かって発話してください。

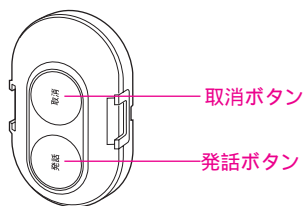


音声認識コントローラー

（別売「CD-SR5」）

ステアリング取付型の音声認識コントローラーです。ステアリングから手を離さずに、より安全に音声による操作を行うことができます。

「CD-SR5」の〔発話〕ボタン、〔取消〕ボタンは、本機付属のリモコンの〔発話〕ボタン、〔訂正〕ボタンと同じ働き（14ページ）をします。



リモコンのジョイスティック / 決定ボタンの使いかた

本機のおさまざまな機能を使うためには、画面上に表示されるメニューなどの項目を選んで実行させる必要があります。

この操作を行うには、リモコン上のジョイスティック / 〔決定〕ボタンを使います。使いかたを十分に理解しておいてください。

各説明書での表記

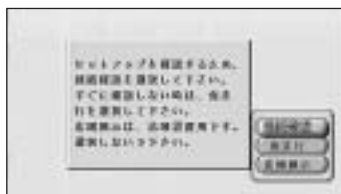
各説明書では、ジョイスティック / 〔決定〕ボタンを、操作の違いを明確にさせるために、ジョイスティックと決定ボタンとに使い分けて表記しています。

ジョイスティックとして使う

画面上に表示されるメニュー項目を選んだり、地図を希望する場所まで動かしたりする場合に使います。



ジョイスティックとして使う場合は、上下・左右・斜めに倒します。



項目を選ぶ

ジョイスティックを上下に倒して項目を選びます。

選ばれた項目の色が変わります。

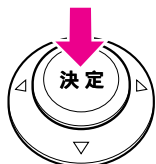


地図を動かす (スクロール)

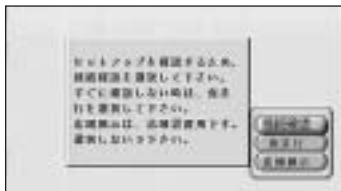
現在地が表示されている状態でジョイスティックを倒すと、倒した方向へ地図が動きます。

決定ボタンとして使う

選ばれたメニュー項目を実行したり、ショートカットメニューを表示させたりする場合などに使います。

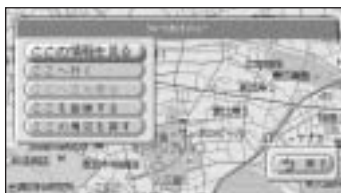


〔決定〕ボタンとして使う場合は、まっすぐに押します。



選ばれた内容を実行する

メニュー項目を選んだ後に〔決定〕ボタンを押すと、選ばれた内容を実行します。



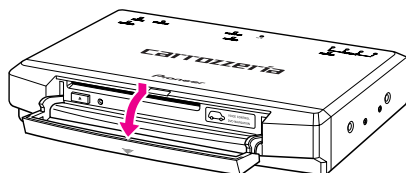
ショートカットメニューを表示する

地図画面が表示されているときに〔決定〕ボタンを押すと、ショートカットメニューが表示されます。

準備 3 : ディスクを本体にセットして電源を入れる

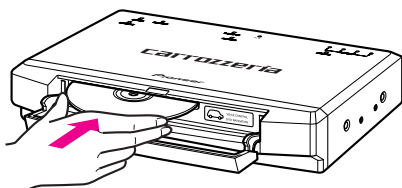
電源の入れかた

1. 車のエンジンをかける
2. 本体前面のフロントドアを開ける



フロントドアを手前に引きます。

3. タイトル面を上にして、ディスクを挿入口に差し込む



注意

- ディスクをセットしたら、必ずフロントドアを閉じてください。
- ディスク挿入口に本機に対応したディスク以外のものを入れないでください。

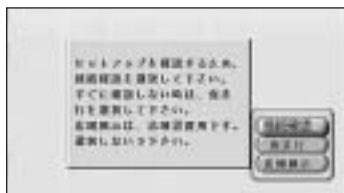
4. フロントドアを閉じる

ディスクを挿入すると、いったん電源が入/切します。その後、再び電源が入り、オープニング画面が表示されます。



Memo

リセットボタンを押した後やバッテリーを外した後などに、いったん電源が入/切することがありますが、故障ではありません。



初めてお使いの場合は、しばらくすると上の画面が表示されます。このあとは20ページに進み、必ず3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください。
(センサーリセットが正しく行われると、次からは現在地を示す地図が表示されます。)

電源の切りかた

リモコンの〔電源〕ボタンを長く押すと、電源が切れます。もう一度リモコンの〔電源〕ボタンを長く押すと、再び電源が入ります。

Memo

お使いになるディスクについて

- 本機では、本機に対応したディスクのみお使いいただけます。

ディスクの取り扱いについて

- セットしたディスクは、通常取り出す必要はありません。ディスクを交換する必要があるときは、ディスク取り出しボタンを押して、取り出します。
- 取り出したディスクは、ケースに入れて保管してください。

準備 4 : 3Dハイブリッドセンサーをリセットする

本機の電源をONにしたなら、自車位置を測位する精度を高めるために、本体に内蔵されているセンサーをリセットします。初めてお使いになる場合は、必ずこの操作を行ってください。また、タイヤを変更した場合なども、この操作を行います。

3Dハイブリッドセンサーとは？

『ナビゲーションブック』の「ナビゲーションのしくみ」をご覧ください。

こんなときはセンサーをリセットしてください

- 本機の取り付け完了後
- 本機の設置場所を変更したとき
- タイヤを変更したとき
(同一サイズのタイヤでも、わずかにサイズが異なります。同一サイズのタイヤに交換した場合に、自車位置のずれが大きくなるようなときは、センサーをリセットしてください。)
- 未使用のセンサーメモリーに切り替えたとき (『ナビゲーションブック』の「お好みの設定に変わる」)

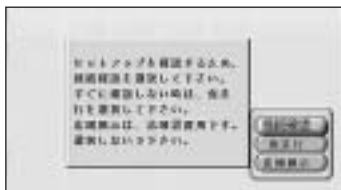
リセット作業に適した場所は？

正しくリセットを行うために、次のような場所を選んでください。

- しばらくの間、安全に停車できる場所
- GPS衛星の電波を受信しやすい、見晴らしの良い場所 (周囲に高い建物や樹木があったり、ビルの駐車場の中にいたりすると、GPS衛星の電波を受信できないことがあります。)
- 水平な場所 (坂道や、路面の起伏が大きい場所では、正しくリセットできません。)
- 30km/h以上の速度で、10秒以上直進できる場所 (約100m程度の距離が必要です。)

リセット作業を行う

1. 作業に適した安全な場所に車を止める
2. リモコンの〔電源〕ボタンを押して、本機の電源をONにする
3. ジョイスティックを操作して画面から **接続確認** を選び、〔決定〕ボタンを押す
接続確認画面が表示されます。



Memo

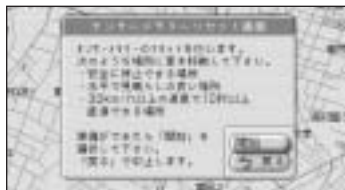
とりあえず車を移動したいときは、**仮走行**を選んでください。ただし、**仮走行**を選んだ場合は自転車位置の精度が悪く、またナビゲーションの機能も完全には使用できません。**仮走行**を行った後は、必ずセンサーリセットの操作を行ってください。(センサーリセットが完了するまでは、電源を入れ直すと、前ページの画面が表示されません。)

なお、**店頭展示**は、店頭でのデモンストレーション用なので、選択しないでください。

4. ジョイスティックを上下に倒して**センサーリセット**を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. ジョイスティックを上下に倒して**開始**を選び、〔決定〕ボタンを押す
センサーのリセット作業が始まります。停車したままでしばらくお待ちください。



6. 走行開始のメッセージが表示されたら、音声案内に従って、車を走行させる
水平な場所で、30km/h以上の速度で10秒以上、前方に直進させてください。



7. 作業終了のメッセージが表示され、音声案内が流れたら、安全な場所に車を止める

リセットが正しく行われると、画面上の自車マークが から▲に変わり、正しい現在地が表示されます。(リセットの状況により次の画面が表示されます。)

3Dハイブリッドで動作するとき



リセットがすべて完了すると、3Dハイブリッドで動作します。約10秒後にメッセージが消え、走行画面に戻ります。

簡易ハイブリッドで動作するとき



車速パルスが認識できないときは、簡易ハイブリッドでの動作となります。**確認**を選んで決定ボタンを押すと走行画面に戻ります。

エラーメッセージが表示されたときは

正しくリセットできなかった場合は、画面に次のようなメッセージが表示されます。



このようなメッセージが表示されたときは、〔決定〕ボタンを押し、次ページを参照してエラーの原因を取り除いてから、センサーリセットの操作をやり直してください。

停車中にエラーメッセージが表示されたときは(21ページ、手順5)

車を停車させ、センサーリセットの準備を行っているときには、次のようなメッセージが表示されます。

「本機の取付け位置を変更して下さい。」

停車状態で本機に大きな振動が伝わると、3Dハイブリッドセンサーがリセットされません。なるべく振動が伝わらない位置に、本機を取り付け直してください。

「車速パルスが検出されました。車を停止してリセットを行なって下さい。」

- 車が動いてしまった可能性があります。車を停止させた状態でセンサーリセットの操作をやり直してください。
- 車を停止させた状態でこのメッセージが表示される場合は、『取付説明書』を参照して、ピンクリード線(車速信号入力)の接続が間違っていないか確認してください。

「GPSが測位できません。見晴らしのよい場所へ移動して下さい。」

- 建物や樹木などにより、衛星からの電波が受信できていないことが考えられます。見晴らしの良い場所に移動してください。
- 見晴らしのよい場所でも測位できない場合は、接続確認画面でGPSアンテナの接続状態を確認してください。また、GPSアンテナを車室内(ダッシュボード上など)に取り付けている場合、必ず付属の金属シートを使用してください。金属シートを使わなかったり、金属シートを切って使用すると、GPSアンテナの感度が落ちてしまいます。
- 接続確認画面でGPS感度を確認しながら、感度が一番良くなる場所にアンテナを取り付けてください。

走行中にエラーメッセージが表示されたときは(21ページ、手順6)

車を走行をさせてもセンサーリセットが行われなかった場合は、次のようなメッセージが表示されます。

「GPS受信が不安定です。見晴らしのよい場所で行なって下さい。」

建物や樹木などにより衛星からの電波が受信できていないことが考えられます。見晴らしの良い場所に移動して、センサーリセットの操作をやり直してください。

「Gセンサーの向きが間違っています。取付説明書を確認して下さい。」

『取付説明書』を参照して本機を取り付ける方向を変えるか、本機の底面にある角度の設定を変更してください。

「車速パルスが異常です。接続を確認して下さい。」

『取付説明書』を参照して、ピンクリード線(車速信号入力)の接続が間違っていないか確認してください。

「30km/h以上で走行して下さい。」

なるべく水平で、30km/h以上で直進走行できる場所に移動してから、センサーリセットの操作をやり直してください。

テレビを見る

テレビに切り替える

ナビゲーションの映像と音声からテレビの映像と音声に切り替えることができます。

1. リモコンの〔ナビ TV〕ボタンを押す



1—現在選ばれている映像と受信中のチャンネルが約8秒間表示されます。

リモコン操作ガイド

リモコンの〔ナビ TV〕ボタンを押すたびに、テレビとナビゲーションが切り替わります。

Memo

- テレビに切り替えたときは、リモコン操作ガイドが画面に表示され、“テレビに切り替えました”とアナウンスが流れます。この機能は、ナビゲーションのお好み設定メニューの「設定する その他の設定 リモコン操作ガイド」でOFFにすることもできます。（『ナビゲーションブック』）
- 走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、テレビの操作を行うことはできます。また、テレビの音声を聞くこともできます。
- 電波の弱い地域では、テレビ受信時に映像の乱れが生じる場合があります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所では、テレビの映りが悪くなる場合があります。

テレビの音声をFM付きカーステレオで聞く

別売のFMトランスミッター「CD-FM30」をお使いになると、テレビの音声を、FM付きカーステレオで受信して、カーステレオのスピーカーから聞くこともできます（TV音声はモノラルです）。

Memo

FMトランスミッターをお使いの場合にTVモニターのスピーカーからテレビの音声を出力させたくないときは、テレビに切り替えてから〔ナビ TV〕ボタンを2秒以上押します。テレビの音声をTVモニターのスピーカーから出力させたいときは、もう一度〔ナビ TV〕ボタンを2秒以上押してください。

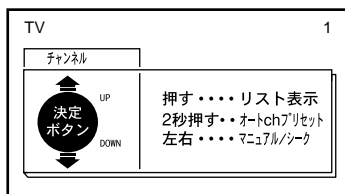
ワイド画面の拡大のしかたを変える

通常の映像（縦横比 4:3）を、ワイド映像（縦横比 16:9）に拡大する方法などを選ぶことができます。見たい映像に合わせて、ワイドモードを切り替えてください。

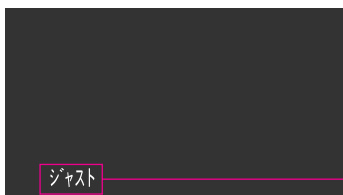
1. テレビに切り替える

ナビゲーションの映像が表示されている場合は、リモコンの〔ナビ TV〕ボタンを押して、テレビの映像を表示させてください。

（ナビゲーションの映像の場合、ワイドモードは切り替えられません。）



2. リモコンの〔ビュー〕ボタンを押す



現在選ばれているモード
約8秒間表示されます。

ボタンを押すたびに、「フル」「ジャスト」「シネマ」「ズーム」「ノーマル」「フル」の順番でワイドモードが切り替わります。（「ワイドモードの種類」）

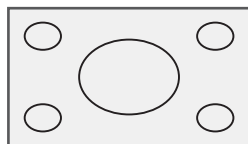
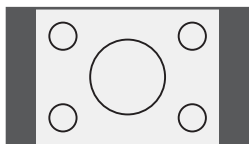
Memo

- 通常のテレビ放送の番組をズーム、ノーマル以外で見ると、映像の縦横比がもとの画面と異なるため、本来の映像とは見えかたに差が出ます。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると（フル、ズームなどを利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

ワイドモードの種類

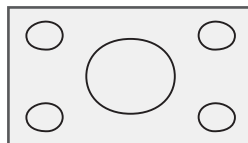
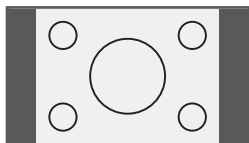
フル

4:3の映像を左右に拡大します。映像が欠けずに表示されます。テレビの画面を見るのに適しています。



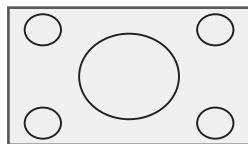
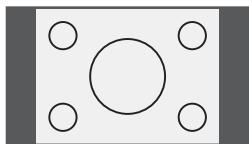
ジャスト

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面中央は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド映像を違和感なく楽しめます。テレビの画像を見るのに適しています。



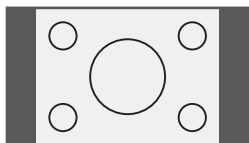
シネマ

フルとズームの中間の比率で上下を拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。テレビの映像にした場合、映像の上下が欠けた状態で表示されます。



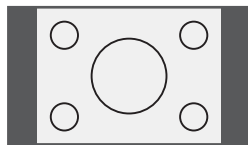
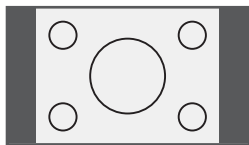
ズーム

4:3の映像を、上下・左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかかっているものを見るのに適しています。テレビの映像にした場合、映像の上下が欠けた状態で表示されます。また、字幕が映像の外側に表示される映画では、字幕が欠けた状態で表示されます。



ノーマル

4:3の映像を拡大せずにそのまま表示します。テレビの映像を見るのに適しています。



Memo

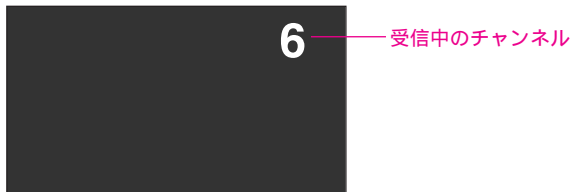
ズーム、シネマで見ると、映像の画質が粗くなります。

放送局を選ぶ・記憶する

自分がある地域の放送局を選ぶ(エリア選局+オートchプリセット選局)

自分がある地域の代表的な放送局と、オートchプリセットで記憶した放送局(29 ページ) を選ぶことができます。

1. ジョイスティックを上下に倒して放送局を選ぶ



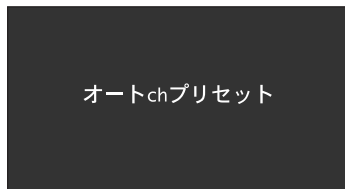
Memo

- 手順1で〔決定〕ボタンを押すと、放送局のリストが表示されます。ジョイスティックを上下に倒して放送局を順に選ぶことができます。
- ナビゲーションが測位した現在地情報をもとに、ディスクに収録されている地域別の代表的な放送局を選ぶことができます。
- 車が他の地域に移動した場合でも、ナビゲーションが測位した現在地情報をもとに、その地域に合った放送局を選ぶことができます。
- 代表的な放送局でも、現在地周辺の環境や電波の状況によっては、受信できない場合があります。
- ディスクに収録されていない放送局は選ぶことができません。新しく開局したテレビ局などは、オートchプリセットで記憶してください(「現在受信できる放送局を記憶する」29ページ)。

現在受信できる放送局を記憶する（オートchプリセット）

受信状態のよい放送局を探して、自動的に記憶することができます。

1. リモコンの〔決定〕ボタンを1.5秒以上押す
下の画面が表示され、記憶動作が始まります。



Memo

- 受信可能な放送局はチャンネル番号として記憶されます（最大12局）。車が他の地域に移動した場合で、同じチャンネルに別の放送局があった場合は、その放送局名がリストに表示されます。

チャンネルを選ぶ / 受信できる放送局を探す (手動選局 / 自動選局)

1. リモコンのジョイスティックを左右に倒してチャンネルを選ぶ



ジョイスティックを倒している時間によって、次のように選局方法を使い分けることができます。

選局方法	ボタンを押す長さ
手動選局 (マニュアル)	1.5 秒未満
自動選局 (シーク)	1.5 秒以上

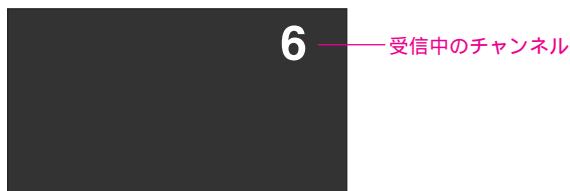
Memo

- 手動選局では、1 つずつチャンネルが送られます。
- 自動選局は、受信状態のよい放送局が見つかると、自動的に停止します。
- チャンネル表示は約 6 秒後に自動的に消えます。

10 キーに記憶したチャンネルを選ぶ

リモコンの10キーに記憶したチャンネルを直接呼び出すことができます。

1. リモコンの10キーを押して、見たいチャンネルを選ぶ
記憶されているチャンネルに切り替わります。



Memo

出荷時には、あらかじめVHFの1～12chが記憶されています。

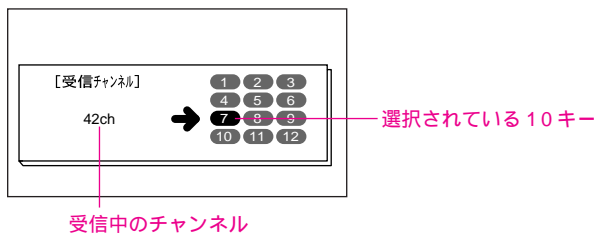
3

テレビの操作

10 キーにチャンネルを記憶する

リモコンの10キーに好きなチャンネル（放送局）を記憶することができます。

1. 記憶したいチャンネルを受信する（ 30 ページ）
2. 記憶したい10キーを2秒以上押す



Memo

リモコンの10キーに記憶されたチャンネルは、オートchプリセット（ 29 ページ）を行っても、変更されてしまうことはありません。

TVモニターの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

TVモニターに直射日光が当たる状態で長時間放置しておくと、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。本機を使用していないときは、TVモニターに直射日光が当たらないようにしてください。

TVモニターは次の温度範囲内でお使いください。

使用温度範囲： - 10度 ~ + 50度

保存温度範囲： - 20度 ~ + 80度

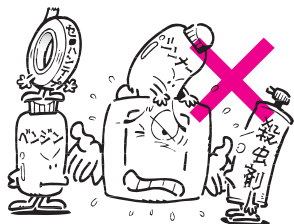
TVモニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。キズや汚れの原因になりますので、液晶画面は触らないでください。

お手入れについて

画面に付いたホコリやTVモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。

画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

ぬれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



液晶画面について

TVモニターの液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)が出ることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。

寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。

TVモニターの液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し映像が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、TVモニター内部に小型蛍光管を使用しています。

蛍光管は約1万時間お使いになると寿命になります。(寒いところでお使いになると、寿命が短くなることがあります。)

蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

ビーコン受光部の取り扱い上のご注意

ビーコン受光部の前方に、電波や光をさえぎる物を設置しないでください。VICS情報を受信できなくなります。また、ビーコン受光部の周辺に物を置かないでください。ビーコン受光部の汚れを清掃するときは、柔らかい布でから拭きしてください。(汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に、中性洗剤を薄めた水をつけ、強く絞ってからお拭きください。)

ビーコン受光部を拭くときは、キズが付かないように注意してください。

VICS情報受信上のご注意

電波ビーコンや光ビーコンの特性上、次の様なことがあります。故障ではありません。

一般道路走行中に、高速道路のVICS情報を受信することがあります。

一般道路走行中に、対向車線のVICS情報を受信することがあります。

トンネルの中では、VICS情報を受信しないことがあります。

大型車と並走していたり、大型車を追い越したりしたときに、VICS情報を受信しないことがあります。

幅の広い道路や車線数の多い道路では、VICS情報を受信しないことがあります。

ディスクの正しい使いかた

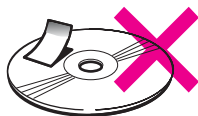
使用できるディスク

本機では、本機に対応したディスクのみが使用できます。（「お使いになる地図ディスクについて」8ページ）
一般のDVD-VIDEOやDVD-ROM、音楽用CDやCD-ROMなど、本機対応以外のディスクは使用できません。
ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。



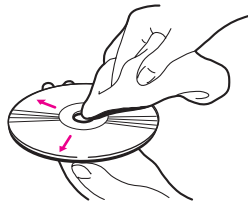
取り扱い上のご注意

ディスクは、記録面(虹色に光っている面)をさわらないように、持ってください。
ディスクにキズを付けないでください。
ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。



お手入れについて

ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ軽く拭いてください。



ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



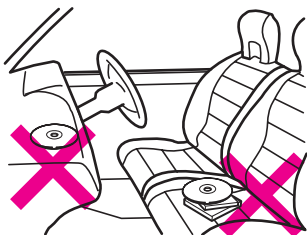
当社では、ディスクのクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

Memo

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

保管上のご注意

ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

走行中、振動のショックでディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。(画面の表示切り替えが遅くなってしまうことがあります。)

寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのをお待ちください。ディスクに付いたつゆは柔らかい布でふいてください。

高温になると、保護機能が働き、ナビゲーションの動作が停止します。

保証書発行兼お客様登録カード

保証書発行兼お客様登録カードは、お買い上げ年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

この製品は、より確実にお客様をサポートさせていただくために「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送による、お客様の登録と保証書の発行を実施させていただいております。お手数ですが、住所、お名前、電話番号および裏面のアンケートに必要事項をご記入のうえ、「保証書発行兼お客様登録カード」を必ず弊社までご返送くださるようお願いいたします。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に記入してください。お客様登録手続き完了後、保証書を郵送にてお届けいたします。（ご返送いただけない場合はお客様の登録ができないため保証書の発行ができません。）送られてきた保証書は記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

なお、保証書のお届けには約3週間ほどがかかります。保証書が届くまでの間、「保証書発行兼お客様登録カードお客様控」は保証書の代わりになります。大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、右ページの当社無料修理規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機、または保証書発行兼お客様登録カードに関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

お願い

より確実にお客様をサポートさせていただくために、万一、保証書がお手元に届かない場合や、ご転居、住所の変更等、ご登録内容に変更がございましたら、お手数ですがパイオニアカスタマーサポートセンターへご連絡くださるようお願いいたします。

カスタマーサポートセンター：☎0070-800-8181-11

修理をご依頼になるときは、故障の原因をより早く確実に解決するため、製品一式をお持ち込みください。なお、サービス対応時におきましては、お客様が保存されたデータが消えることがあります。重要な内容は紙などに控えておいてください。

無料修理規定

1. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
2. 本取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはバイオニアサービスステーションが無料修理いたします。
3. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には商品と保証書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」のバイオニアサービスステーションにご依頼ください。
4. ご転居、ご贈答品等で保証書または保証書発行兼お客様登録カードに記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧くださいのうえ、お近くのバイオニアサービスステーションへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛かり等による故障および損傷。
 - 業務用の長時間使用、船舶への搭載等、通常以外のご使用をされた場合の故障および損傷。
 - 消耗品（各部ゴム、電池等）の交換
 - 未登録のお客様で保証書発行兼お客様登録カードのご提示がない場合。
 - 保証書の文字を書きかえられた場合。
 - 保証書発行兼お客様登録カードにお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
 - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
6. 保証書およびこの無料修理規定は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.
7. 保証書および保証書発行兼お客様登録カードは再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
 - * 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって保証書およびこの無料修理規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧くださいのうえ、バイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
 - * 保証期間中に保証書を紛失した場合でもご登録いただいておりますと、確認に多少お時間をいただく場合がございますが、当社無料修理規定に基づき修理いたします。

お客様の個人情報について

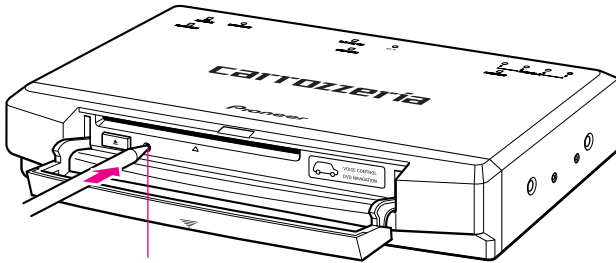
当社はおお客様個人の情報につきまして、安全対策を実施し厳重な管理を行っております。

リセットのしかた

次のようなときは、本機のリセットボタンを押してマイコンをリセットしてください。

- 接続が終わった後
- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

ボールペンの先などで、リセットボタンを押します。



リセットボタン

Memo

リセットボタンを押すと、テレビの設定（記憶させたチャンネルなど）が消去されますので、もう一度記憶させてください。

ナビゲーション本体 (GPS 部)

方式：
L1、C/A コード GPS、SPS スタンダード・
ポジショニング・サービス
受信方式：
8チャンネル マルチ チャンネル受信方式
受信周波数：1,575.42 MHz
感度：-130 dBm
測位更新時間：約1回/1秒

ナビゲーション本体

最大消費電流：3 A
使用電源：
DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式：マイナスアース方式

TV モニター

画面サイズ：
6.5 インチワイド (有効表示面積：
79.3 × 143.4 mm)
画素数：
280,800 画素 (234 × 1,200)
方式：
TFT アクティブマトリクス方式、透過型
エッジライト：冷陰極コウの字管
使用温度範囲：-10 ~ +50
保存温度範囲：-20 ~ +80
内蔵スピーカー：36 mm

TV チューナー

受信チャンネル：
VHF 1 ~ 12 ch、UHF 13 ~ 62 ch
(モノラル音声)
TV 音声出力 (RCA)：モノラル
出力レベル：0.5V/1kΩ以下
アンテナ入力：4 ch ダイバシティ

GPS アンテナ

アンテナ：
マイクロストリップ平面アンテナ/右円偏波
アンテナケーブル長：5.0 m

TV アンテナ

出力端子：3.5 ミニプラグ × 3 + JASO × 1
アンテナケーブル長：6.0 m

ビーコン (AVIC-DR1000V)

ケーブル長：6.0m

外形寸法

ナビゲーション本体 (TV チューナー一体)：
282 (W) × 52 (H) × 212 (D) mm
TV モニター：
187 (W) × 102 (H) × 35 (D) mm
GPS アンテナ：
46 (W) × 46 (H) × 13 (D) mm
TV アンテナ：
30 (W) × 190 (H) × 21 (D) mm (収納時、
アンテナベース含まず)
リモコン：
38 (W) × 140 (H) × 36 (D) mm
ビーコン (AVIC-DR1000V)：
60 (W) × 20 (H) × 47 (D) mm

質量

ナビゲーション本体：3.3 kg
TV モニター：620 g (コード含まず)
GPS アンテナ：130 g
TV アンテナ：270 g (コード含む、片側)
リモコン：70 g (電池含む)
ビーコン (AVIC-DR1000V)：
165 g (コード含む)

付属品

DVD-ROM ディスク：1
リモコン：1
単4形アルカリ乾電池 (LR03)：2
コード類：1式
取付キット：1式
取付説明書：1
スタートブック：1
ナビゲーションブック：1
安全上のご注意：1
保証書発行兼お客様登録カード：1
ご相談窓口・修理窓口のご案内：1
VICS サービス契約約款：1

Memo

- 仕様および外観は予告なく変更することがあります。またこの説明書中のイラストと実物が、一部異なることがあります。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。
- テレビの受信状態がよくないチャンネル(電波の弱いチャンネル)は、GPSの影響で、画面に斑点や色模様などのノイズが出ることがあります。

スタートブック

START
BOOK

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

☎0070-800-8181-11

カタログのご請求窓口

☎0070-800-8181-33

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2000

< KAMHF/00I00001 > < CRA3060-A >